

文・イラスト/さいもんふみ  
 1957年生まれ。子育てをしながら漫画家、作家として大活躍中。2002年もあつという間の一年だった。先日、お仕事で霊能力者の方に「2003年は年下のステキな恋人ができて、とても良い年になる」と言われてウキウキ。来たるべきその日のために、2003年もあの手この手の「女磨き」がテーマ。



# 美の柴門ふみ健康



一味違うマシン一台



クレアトウル・ウチノ表参道  
 以前からヘアエステの第一人者として定評のある内野邦彦氏のサロンが、ビルの改装に伴い生まれ変わった。今回のコースはメディックカラー¥16,000~20,000。出張ネイル&フットケアが、マニキュアコース¥6,500、ペディキュア¥6,000、フットマッサージ¥6,500。東京都渋谷区神宮前5-7-5 ルイ・ヴィトン表参道ビルB1F ☎03-3486-8182 予約専用フリーダイヤル☎0120-31-3131 営11:00~20:00 不定休

そう、パサパサくせつ毛ヘアの私が求めていたのはまさにこれ、これなのよ!!



ヘアチェック

# 「ヘアエステ」東京 クレアトウル・ウチノ表参道

美しく健康的な40代を目ざして漫画家の柴門ふみさんがロコミで評判のエステやクリニックを巡礼する、体当たり取材連載コラム。「いちばん年がでるのは実は手と髪よねー」という話題になり、今回はサラサラ、つやつやの「天使の輪」を手に入れるべく、今話題の表参道「ルイ・ヴィトン」ビル地下にあるヘアサロンで若返りを目ざした!!

濃くて太くてくせつ毛で。これが私の髪の毛だった。

ところが歳とともに、白髪でパサパサのくせつ毛に変わってしまった。代々の白髪家系である。母も姉も三十代半ばでまっ白になった。私も平均以上に白い。というわけでヘアダイが欠かせない。必然的に髪が痛む。おまけに生まれつきのくせつ毛で短い毛がチリチリと頭上で踊っている。

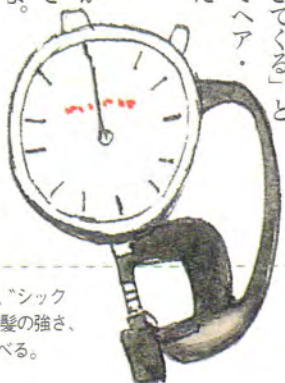
一昨年、私の漫画作品のドラマ化制作発表の場で見かけた鈴木京香さんと米倉涼子さんの美しさに目を見張った。お顔はもちろんのこと、その髪的美しさである。ストレートでツヤを保ち、一本のくせ毛もパサ毛もなかった。女優髪、というのだろうか。頭部を動かすたびにぱらりと揺れてはすとんと落ち着く。「これは相当手間ヒマかけた髪に違いない」私は、うなづいた。一体、どこに行けばこんな髪を手に入れられるのか。その年来の思いが、ようやく実現への一歩を踏み出した。

ルイ・ヴィトン表参道ビルの地下に昨年九月に新しくオープンした「クレアトウル・ウチノ」のコンセプトは「サイエンスのあるヘア・サロン」である。

代表の内野氏は「健康な髪があつてこそヘアスタイルが生きてくる」と考え、日本で初めてヘア・エステを創り出した人物である。

そう、パサパサくせつ毛ヘアの私が求めていたのはまさにこれ、これなのよ。

ルイ・ヴィトンのショウウィンドウを横目にエレベーターで地下一階に下りると、そこがサロン。明るく開放的なインテリアだ。イタリア製のチェアが光を放っていて地下の息苦しさを感ぜさせない。まるでひまわり畑だわ。



→これは、毛髪の太さを測る、「シックネスゲージ」。このほかにも、髪の強さ、水分量など様々な角度から調べる。

←出張のネイルケアは、ネイルアートもオーダーできる。パーマやカラーリングの待ち時間を有効活用できる。



さて、サイエンスを謳うこのサロンではまず専用の機械によってヘアチェックを行う。強度や水分量、傷み具合をコンピュータデータとして表示してくれる。そのデータを元に、各個人に合ったヘアケアのカルテを作成する。今回は水分補給とキューティクル保護を施術した後、アッシュにヘアダイするメニューとなった。白髪を目立たせないために暗めの色を入れるのだ。K記者はお若いだけあって髪は黒黒。そこでストレートパーマをかけることとなった。

## 「今大地震が起きたら天井が割れてヴィトンのかしら…」

「サイモンさんも本当はストレートパーマをかけた方がいいね」と内野氏。

「でもストパーって毛先までびんびんして笠地蔵みたいになっちゃうじゃないですか」

「いや、うちのパーマはくせを直しながら毛先は丸く落ち着くんですよ」

「ぜ、ぜひ次回はストレートかけに来ます。」

今回はさらにオプションで、髪を施術中にマニキュア、フットケア、ペディキュアまでやってもらうことにした。

それがどういう状態であるか。イラストを参照して下さい。頭に二人。手に一人。足に一人。まるでお出かけ前の女王様よ。頭上はヴィトンだし。

「今大地震が起きたら天井が割れてヴィトンが山のように降ってくるのかしら」  
「なんて馬鹿なこと考えていたら、」  
「サイモンさん、この座席スペース何か気づきませんか」



仕上がり

女王様よ

と、隣席のK記者が声をかけてきた。

「鏡がないんですよ」

言われて、気がついた。言われるまで気づかないのも相当うかつだが、時間のかかるヘアエステ席の前には鏡ではなくテレビのディスプレイが据え付けられているではないか。字幕スリーパー付きのCSチャンネルが流されているので映画も楽しめる。快適な空の旅のようなサービスである。

私の目の前の画面はずっとディスプレイバリイチャンネルの「蛇捕り名人による世界の毒蛇」を流していた。おかげで世界中の毒蛇についての知識をびっしり頭に納めることができた。

「クレアトウル・ウチノ」のシャンブー台には、マッサージ機能付きのチェアが置かれていて、これも病みつきになるほど気持ちがいい。コーヒーマグも飲み放題だし、マイナスイオンの空気清浄機は快適だし。私の女王様気分は施術の終了する五時間後まで続いたのであった。

「いやー、結構長かったわねえ」

と、ようやく終わった私はK記者に話しかけた。

「サイモンさん、顔中脂浮きまくってますよ」  
ヘア・チェック、カウンセリングから数えて五時間か。でも普段なら足むくみまくりのところが例のフットケアのおかげで快適だった。普段なら女性誌五冊分の情報で頭が膨らんでいるところが今回は世界の毒蛇情報である。何だか新鮮。

もちろん、髪はツヤツヤ。ダークな色調が冬の装いにもマッチしている。  
「どうしたんだ。今までで一番いい髪じゃないか」

と、帰宅した夫が声を上げた。結婚22年目にして初めて髪を誉められた。

よしっ。次はストレートパーマをかけて夫以外の男性にも誉めてもらおう。

1か月後 忙しくてまだストレートパーマをかけるには行っていないですが、いただいたヘアケア製品をマジメに使っているの、ツヤツヤ感は維持しています。でも誉めてくれる男性はまだ出現せず(！)